

西胆振地域はひとつ

～西胆振地域連携フォーラム～

11月1日(水)、室蘭市市民会館で西胆振6市町の広域連携に向けた西胆振地域連携フォーラム（西胆振広域圏振興協議会主催）が、6市町の首長や議長、まちづくり団体の代表者をパネリストに迎え初めて行われました。

少子高齢化社会を迎え、人口が段々減ってきていることに加え、さらに地方から大都市への人口流出が続いています。このままでは地方が自活できなくなることから、観光業や農業、水産業、製造業などの幅広い産業を持つ西胆振地域が連携し、産業活動を活発にして、若い人が定着できる環境をつくる必要があります。

フォーラムでは、西胆振地域のまちづくりはどうあるべきか、長期的・広域的な視点に立ってまちづくりを考えようということで発言があり、将来的な合併の必要性について、各首長の認識が一致しました。

今後は、将来の合併に向け、市民のかたがたを含めて議論されることとなります。

参加した約300人は、西胆振地域のまちづくりについての発言に、熱心に耳を傾けていました。



高齢者が安心して暮らし続けられるまちに

～登別市高齢者を支えるネットワーク構築に向けての講演会～



10月27日(金)、市民会館で『登別市高齢者を支えるネットワーク構築に向けての講演会』（市、地域包括支援センター共催）が民生委員児童委員や町内会役員、ケアマネジャーの方など166人が参加して行われました。

この講演会は、地域や関係機関が連携して高齢者虐待防止の体制づくりを目指し、高齢者虐待の正しい知識や現状を知ってもらうことを目的に、北広島リハビリセンター特養部・四恩園施設長の三瓶徹さんを講師に招き、『高齢者虐待を理解し、地域ぐるみで取組もう！』と題して行われ、「その人がその人らしく生きるということを尊重することです。その人の家族だけでなく、その人の住む地域を支援することです」と事例を交えながら話されました。

続いて、地域包括支援センターによる『高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律』についての説明のほか、同センターの紹介や業務内容などの説明が行われ「気軽にご相談、ご利用ください」と呼び掛けていました。

図書館の仕事を楽しく体験

～一日司書体験～

10月28日(土)、市立図書館で一日司書体験（市主催）が行われました。この催しは、子どもたちに図書館を身近に感じてもらうと、読書週間（10月27日(金)～11月9日(木)）に合わせて、毎年行われているもので、今年は小学3・4年生3人が参加しました。

参加した子どもたちは、職員から館内や仕事の内容などの説明を受け、早速、パソコンを使いながら、図書の貸し出しや返却の受け付け、返却された図書を書棚に戻して整理する仕事などに取り組んでいました。

参加者の1人は、「パソコンを使っての貸し出しが楽しかったです。ぜひ、またやってみたいです」と話していました。

